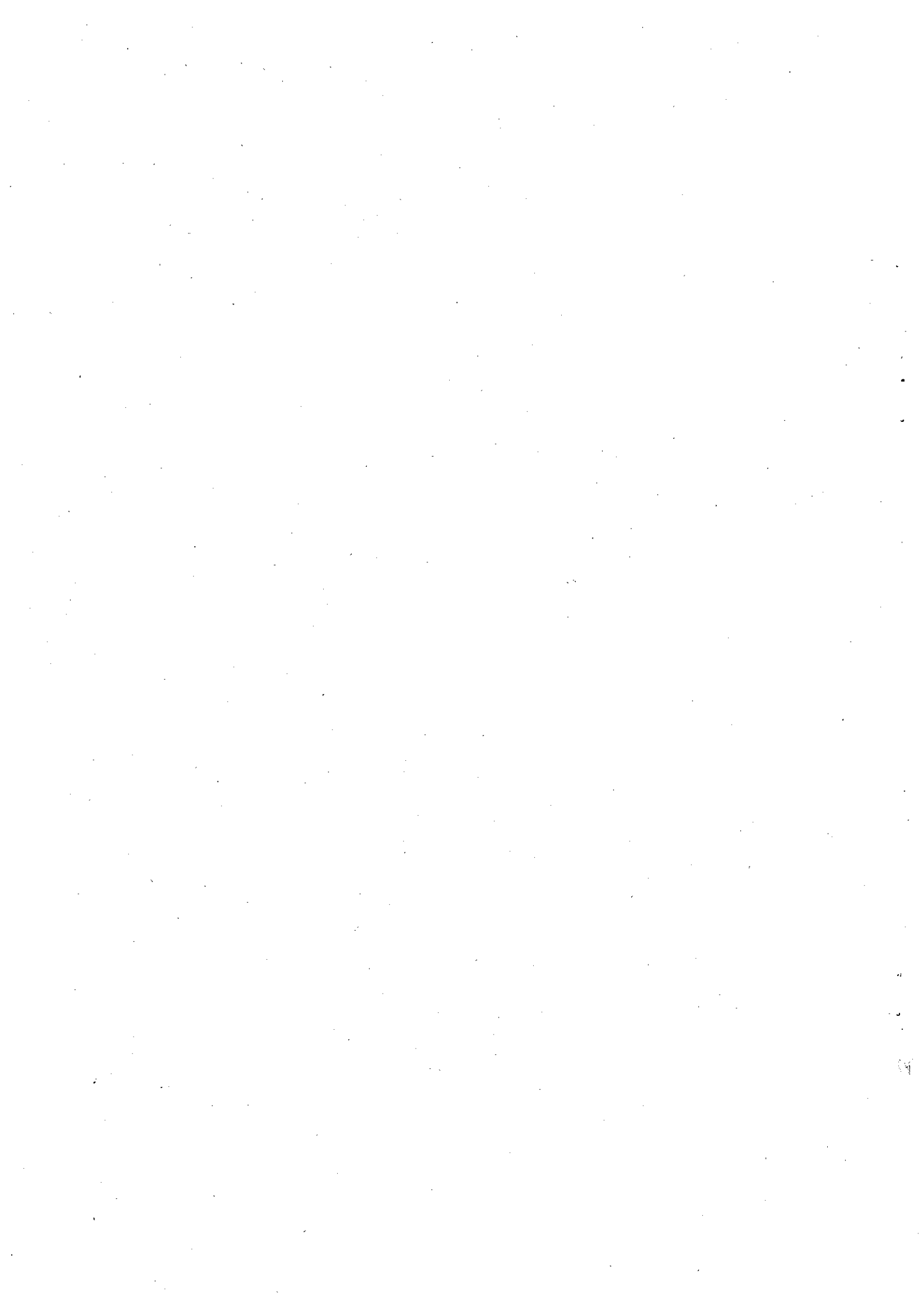


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年11月27日)

- 1 第2回鳥取市の中核市移行に関する県・市協議会について
【地域振興課】・・・ 1ページ
- 2 平成25年度決算(市町村分)に係る健全化判断比率・資金不足比率(確定値)について
【地域振興課】・・・ 2ページ
- 3 とっとり暮らし首都圏PRイベントの開催結果について
【とっとり暮らし支援課】・・・ 8ページ
- 4 鳥取県への移住状況について(平成26年度上半期速報)
【とっとり暮らし支援課】・・・ 9ページ
- 5 若桜鉄道「若桜谷観光号」について
【交通政策課】・・・ 10ページ
- 6 「山陰いいもの探県隊」トークイベントについて
【交通政策課】・・・ 11ページ
- 7 鳥取空港の愛称決定に至る経緯について
【交通政策課】・・・ 12ページ
- 8 『あいサポート・よなごマルシェ』の開催概要について
【西部総合事務所地域振興局】・・・ 13ページ

地 域 振 興 部



第2回鳥取市の中核市移行に関する県・市協議会について

平成26年11月27日
地域振興課

11月18日に第2回県・市協議会を開催し、事務権限の移譲の基本的な方針や住民サービス向上のための取組等について協議を行い、県・市・4町で方向性を確認しましたので、その概要を報告します。

1 議事及び説明概要

(1) 中核市移行に向けた基本方針等について《説明：鳥取市》

- ・中核市権限を加え相乗効果によりサービス向上を図ること、法定移譲事務以外の事務もセットで移譲を受けるよう調整すること、県から東部4町の保健所事務に関する事務の委託を受けること等を県・市で確認した。

(2) 中核市移行に係る行程・検討事項について《説明：鳥取市》

《課題》専門職員の確保、経費と財政措置の精査、既存施設の活用等

(3) 事務事業調整の取組状況について《説明：県、市》

- ・移譲事務調査の実施、移譲事務項目（計2,487項目）、年間処理件数等を市へ提示した。
- ・移行支援PTを設置。市への具体的な事務事業の説明、質疑応答、課題整理等を実施した。

《課題》○保健所業務に必要な専門職員の人材確保

○法定移譲事務以外の事務の移譲に係る隘路の確認及び対応策の検討

(4) 東部4町における住民サービス維持・向上のための取組について《説明：県》

- ・東部4町からの意見、提案（現在の保健所の事業・取組の継続と円滑な協力体制の構築、各町担当の保健師の配置等）を踏まえ、県、市、4町での連携方策例として、連携協約の締結、連携会議の開催について説明した。

2 主な質疑・意見等

(市) 市に移譲事務のノウハウがないため、可能な限り実務経験のある職員を確保したく、県からの移行を含め協力をいただきたい。その上で、足りない人員をどう確保するか考えていく。通常の人事交流での派遣もお願いしたい。

(県) 移譲後も、衛生環境研究所の検査業務等県が一括して行うべきものが残る。また、食中毒など県内での統一性や基準が必要なものがあり、移行後も県・市の連携・協力が必要である。

(市) 4町との連携方策について、県から一つの例として連携協約の説明があったが、将来にわたって4町における住民サービスが低下しないための連携の仕組みは必要。詳細はこれから県・市・4町で議論していきたい。

(町) 東部圏域という位置付けで同じサービス、対応をしていただくこと、4町へのサービスが後回しにされないこと、現行のサービス水準を担保していく仕組みを設けていただくことをお願いしたい。

(県) 保健所の位置、規模について、事務に手戻りが生じないように、早目に方針を出してほしい。

平成25年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について
平成26年11月27日
地域振興課

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、市町村において平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が算定され、数値が確定しましたので報告します。

1 平成25年度決算に係る健全化判断比率等

(1) 健全化判断比率

○ 早期健全化基準以上となる団体 …… なし

○ 健全化判断比率の状況（対前年度比較）

早期健全化等の判断の目安となる健全化判断比率に係る県内市町村の状況は次のとおり。

①実質赤字比率	…前年度と同様、全市町村で赤字なし
②連結実質赤字比率	…米子市の赤字が解消し、全市町村で赤字なし *米子市（H24:1.69%→H25:赤字なし）：主な原因であった流通業務団地整備事業特別会計の資金不足額について、経営健全化計画に基づき第三セクター等改革推進債の発行により資金不足（赤字）を解消したため。
③実質公債費比率	…比率が増加した団体が一つあったが、おおむね起債発行の抑制や繰上償還などにより改善傾向にあり、地方債発行に許可が必要な18%以上の団体は1団体減の2となった。
④将来負担比率	…比較的公共事業等の多かった3団体で増加したが、いずれも基準の半分以下の数値であり、各団体とも健全な財政運営に努めている。 *若桜町、三朝町、日南町：将来負担比率なし（＝資金不足が生じていない）

※健全化判断比率の内容、早期健全化基準・財政再生基準、市町村ごとの比率については、
〈参考〉を参照のこと。

(2) 資金不足比率（公営企業に係る指標）

○ 経営健全化基準以上となる団体 …… なし

米子市：流通業務団地整備事業特別会計において、平成20年度決算に基づく比率（資金不足比率）で基準超過し、平成21年度に経営健全化計画を策定した。計画に基づき、平成25年度に第三セクター等改革推進債を発行して資金不足を解消し、同年限りで会計を廃止した。

○ 資金不足が発生した公営企業会計及び資金不足比率の状況

市町村名	公営企業会計名	資金不足比率		
		平成25年度 決算	平成24年度 決算	資金不足比率が増加（悪化）した要因
境港市	土地区画整理費特別会計	3.7%	1.7%	地価の低迷により、用地の分譲価格が簿価に達していないため
三朝町	国民宿舎事業会計	12.8%	14.7%	—
北栄町	下水道事業特別会計	2.1%	2.0%	施設の維持修繕に係る経費の増

※「資金不足比率」：公営企業ごとの資金不足の比率（対事業の規模（営業収益））。
資金不足比率の経営健全化基準＝20%

2 今後のスケジュール

11月 …… 総務省が全国確定値を公表

<参 考>各市町村の健全化判断比率一覧

各市町村のいずれの指標も早期健全化基準及び財政再生基準を下回っている。

(単位：%)

指標 市町村名	①実質赤字比率 一般会計等の実質赤字 の比率 (対標準財政規模)	②連結実質赤字比率 公営企業会計も含めた 実質赤字の比率 (対標準財政規模)	③実質公債費比率 一般会計等が負担する 元利償還金等の比率 (3ヶ年平均) (対標準財政規模)	④将来負担比率 一般会計等が将来負担 すべき債務の比率 (対標準財政規模)
鳥取市	赤字なし	赤字なし	14.3	99.7
米子市	赤字なし	赤字なし	18.6	162.2
倉吉市	赤字なし	赤字なし	14.7	119.4
境港市	赤字なし	赤字なし	16.0	86.5
岩美町	赤字なし	赤字なし	14.5	54.9
若桜町	赤字なし	赤字なし	9.3	- (*1)
智頭町	赤字なし	赤字なし	11.2	78.5
八頭町	赤字なし	赤字なし	10.6	56.4
三朝町	赤字なし	赤字なし	12.2	- (*1)
湯梨浜町	赤字なし	赤字なし	16.3	44.6
琴浦町	赤字なし	赤字なし	13.5	134.4
北栄町	赤字なし	赤字なし	16.4	126.7
日吉津村	赤字なし	赤字なし	7.5	36.8
大山町	赤字なし	赤字なし	13.9	25.4
南部町	赤字なし	赤字なし	11.9	33.3
伯耆町	赤字なし	赤字なし	11.9	21.5
日南町	赤字なし	赤字なし	11.0	- (*1)
日野町	赤字なし	赤字なし	20.3	24.1
江府町	赤字なし	赤字なし	15.4	80.5
早期健全化 基準	11.25~15 (*2)	16.25 ~20 (*2)	25	350
財政再生 基準	20	30	35	
(参考)県分	赤字なし	赤字なし	12.7	108.9
早期健全化 基準	3.75	8.75	25	400
財政再生 基準	5	15	35	

* 1. 「-」は、当該比率が生じていない(資金不足が生じていない)ことを表している。

* 2. 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の早期健全化基準は市町村の財政規模に応じて設定される。

平成25年度市町村地方公営企業の決算の概要

- 平成25年度市町村地方公営企業の決算について、収益的収支における総収益は、観光施設事業等において料金収入の減があったものの、宅地造成事業における他会計繰入金や病院事業における医業収益の増により、514億62百万円(+35億8百万円)となった。総費用は、病院事業において、職員給与費や材料費の増加があったこと等により、420億95百万円(+6億37百万円)となった。
- 資本的収支における資本的収入は、水道事業や下水道事業における企業債発行額の増により、228億49百万円(+32億80百万円)となった。資本的支出は、水道事業や下水道事業における建設改良費の増により、357億63百万円(+22億72百万円)となった。
- 総収支は、△9億54百万円(+34億32百万円)となった。
- 企業債の新規発行額は116億59百万円(+32億78百万円)、企業債残高は3,072億68百万円(△83億60百万円)であり、公営企業全体としては新規事業抑制の傾向にある。

(単位：百万円)

区分	収益的収支								
	総収益			総費用			収支差引		
	25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減
水道	9,942	9,794	148	9,202	9,003	199	740	791	△51
工業用水道	30	36	△5	23	26	△3	7	10	△2
病院	16,836	16,585	251	16,500	16,009	492	335	576	△241
電気	523	360	163	215	144	71	308	216	92
下水道	19,002	18,949	53	15,065	15,156	△91	3,937	3,793	144
市場	75	77	△2	33	34	△1	42	43	△1
観光施設	990	1,210	△219	866	878	△12	124	332	△207
宅地造成	3,715	589	3,126	11	25	△14	3,704	564	3,140
駐車場整備	144	146	△2	79	81	△2	65	65	0
介護サービス	206	209	△3	100	101	△1	105	108	△2
合計	51,462	47,954	3,508	42,095	41,458	637	9,368	6,496	2,872

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

(単位：百万円)

区分	資本的収支									総収支		
	資本的収入			資本的支出			収支差引			【純損益（法適）+実質収支（非適）】		
	25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減
水道	4,624	3,915	709	8,404	8,252	152	△ 3,780	△ 4,337	557	399	472	△ 73
工業用水道	0	3	△ 3	12	27	△ 15	△ 12	△ 24	12	7	10	△ 2
病院	1,587	1,194	393	2,535	2,095	440	△ 947	△ 901	△ 46	335	576	△ 241
電気	798	0	798	976	178	798	△ 178	△ 178	0	82	11	71
下水道	15,307	13,476	1,830	22,446	21,298	1,149	△ 7,140	△ 7,821	682	△ 720	△ 960	240
市場	82	12	70	135	30	105	△ 53	△ 18	△ 35	5	△ 1	6
観光施設	129	617	△ 488	336	851	△ 515	△ 207	△ 234	27	△ 14	△ 44	30
宅地造成	31	53	△ 23	286	406	△ 119	△ 256	△ 352	97	△ 426	△ 3,874	3,448
駐車場整備	81	78	2	184	180	3	△ 103	△ 102	△ 1	△ 623	△ 579	△ 44
介護サービス	211	221	△ 9	449	175	275	△ 238	46	△ 284	0	3	△ 3
合計	22,849	19,570	3,280	35,763	33,491	2,272	△ 12,913	△ 13,921	1,008	△ 954	△ 4,386	3,433

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

<参考>

平成25年度市町村普通会計の決算の概要

<概要>

- 歳入総額は、国の経済対策で創設された「地域の元気臨時交付金」による国庫支出金の増加、土地開発公社解散による代位弁済等のための第三セクター改革推進債発行（米子市）等による地方債の増加により、3年ぶりに増加。
- 歳出総額は、地域再生事業債の償還終了（鳥取市平成16年度発行）による公債費の減少、平成23年度の台風災害に伴う繰越事業の完了による災害復旧事業費の減少はあったものの、「地域の元気臨時交付金」を活用した事業の増加による普通建設事業費の増加により、2年連続で増加。

<歳入>

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
一般財源 計 A+B+C+D+E	171,132	55.0	170,772	57.6	360	0.2
地方税 A	65,784	21.2	65,649	22.2	135	0.2
地方譲与税 B	2,175	0.7	2,282	0.8	▲ 107	▲ 4.7
地方特例交付金 C	225	0.1	235	0.1	▲ 10	▲ 4.3
地方交付税 D	96,008	30.9	96,000	32.4	8	0.0
地方消費税交付金等各種交付金 E	6,941	2.2	6,606	2.2	335	5.1
国庫支出金	39,200	12.6	31,533	10.6	7,667	24.3
県支出金	22,151	7.1	22,985	7.8	▲ 834	▲ 3.6
地方債	32,774	10.5	28,133	9.5	4,641	16.5
繰入金	5,896	1.9	2,022	0.7	3,874	191.6
その他	39,761	12.8	40,890	13.8	▲ 1,129	▲ 2.8
歳入合計	310,915	100.0	296,335	100.0	14,580	4.9

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【国庫支出金】地域の元気臨時交付金の増
- 【地方債】第三セクター改革推進債の増等
- 【県支出金】平成23年度の台風被害に係る災害復旧事業の完了による減
- 【その他】土地開発公社貸付金削減による貸付金元利収入の減

<歳出>

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	125,728	41.7	127,729	44.3	▲ 2,001	▲ 1.6
うち人件費	39,919	13.3	41,034	14.2	▲ 1,115	▲ 2.7
うち扶助費	48,769	16.2	47,607	16.5	1,162	2.4
うち公債費	37,040	12.3	39,088	13.6	▲ 2,048	▲ 5.2
投資的経費	38,937	12.9	32,760	11.4	6,177	18.9
うち普通建設事業費	38,106	12.7	29,302	10.2	8,804	30.0
うち補助事業費	18,007	6.0	12,270	4.3	5,737	46.8
うち単独事業費	19,300	6.4	16,309	5.7	2,991	18.3
うち災害復旧事業費	831	0.3	3,458	1.2	▲ 2,627	▲ 76.0
その他の経費	136,553	45.3	127,518	44.3	9,035	7.1
うち物件費	34,091	11.3	34,198	11.9	▲ 107	▲ 0.3
うち補助費等	36,738	12.2	34,295	11.9	2,443	7.1
うち積立金	9,685	3.2	6,267	2.2	3,418	54.5
うち貸付金	16,354	5.4	16,962	5.9	▲ 608	▲ 3.6
うち繰出金	35,785	11.9	32,256	11.2	3,529	10.9
歳出合計	301,218	99.9	288,007	100.0	13,211	4.6

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【普通建設事業費】地域の元気臨時交付金を活用した事業
- 【繰出金】流通業務団地整備事業特別会計廃止に伴う増
- 【公債費】地域再生事業債の償還終了等による減
- 【災害復旧事業費】平成23年度の台風被害に係る災害復旧事業の完了による減

平成25年度 市町村別普通会計決算の状況

(単位：百万円、%)

市町村名	歳入総額				歳出総額				実質収支				経常収支比率				地方債現在高				積立金現在高	
	一般財源		増減額		業務的経費		増減額		普通建設事業費		増減額		増減額		増減値		増減額		増減額		増減額	
	増減額	171.132	14,581	360	301,218	13,211	125,728	△ 2,001	38,106	8,803	7,558	730	160	319,028	160	75,583	6,344					
鳥取市	95,395	748	52,089	197	93,288	597	40,270	△ 504	10,888	1,108	1,963	370	83.7	0.3	101,100	△ 2,817	13,501	1,200				
米子市	64,651	6,829	30,508	224	63,384	6,599	27,173	△ 555	6,576	2,115	1,046	88	91.0	△ 1.8	67,466	4,072	4,900	769				
倉吉市	27,002	△ 10	14,436	△ 49	26,212	△ 45	11,591	△ 83	3,143	△ 90	724	90	90.8	△ 1.6	28,171	61	5,684	701				
鹿港市	17,146	2,264	8,141	△ 73	16,780	2,209	6,761	△ 9	2,810	1,181	167	10	92.0	△ 1.0	12,312	230	4,855	229				
若菜町	6,655	73	4,088	3	6,597	37	2,581	△ 123	726	56	89	△ 11	88.7	△ 3.9	7,226	158	3,301	126				
若桜町	3,702	-414	2,229	18	3,532	446	1,157	△ 52	690	333	149	△ 16	81.0	△ 4.9	3,133	48	1,903	244				
智頭町	7,390	1,631	3,888	2	6,902	1,567	2,148	△ 11	1,381	929	411	14	82.6	5.4	5,118	289	2,887	409				
八頭町	11,254	467	7,214	33	10,613	324	4,429	△ 6	1,037	307	355	△ 47	83.6	△ 1.3	11,808	△ 7	4,520	566				
三朝町	4,582	△ 661	3,033	△ 33	4,552	△ 627	1,906	△ 30	488	△ 385	2	△ 60	85.1	△ 0.3	4,081	△ 70	1,961	188				
湯梨浜町	9,132	△ 416	6,489	35	8,876	△ 434	4,631	△ 33	408	63	230	15	86.8	△ 2.8	13,285	△ 968	5,938	606				
琴浦町	11,549	859	6,479	-111	11,330	903	4,400	△ 10	2,243	636	186	68	87.4	△ 1.6	16,057	532	3,961	410				
北栄町	7,827	△ 147	5,371	64	7,411	△ 358	3,528	△ 20	703	54	380	179	87.8	△ 0.5	8,814	△ 197	2,659	64				
日吉津村	2,846	682	1,339	△ 50	2,204	129	878	12	397	149	92	6	91.4	6.7	1,847	149	753	△ 391				
大山町	11,057	204	7,337	69	10,572	178	4,006	△ 228	1,512	705	362	28	85.3	△ 1.1	11,777	△ 496	4,811	332				
南部町	7,344	204	4,722	8	7,129	274	2,779	△ 117	725	143	160	△ 26	84.8	0.5	7,277	△ 150	3,534	150				
伯耆町	8,538	237	5,074	28	8,184	315	3,060	△ 74	1,627	349	252	△ 62	86.9	△ 0.5	7,523	△ 161	3,607	183				
日南町	6,602	△ 94	3,996	△ 75	5,950	△ 159	1,837	△ 64	975	△ 68	607	30	91.3	0.4	5,601	△ 225	3,851	202				
日野町	3,327	△ 96	2,434	△ 89	3,091	△ 107	1,260	△ 39	248	△ 23	226	36	87.6	△ 1.9	2,621	△ 283	1,484	104				
江府町	4,916	1,393	2,336	△ 65	4,730	1,363	1,332	△ 58	1,528	1,238	158	16	82.3	△ 1.8	3,809	△ 6	1,473	252				
合計 (平均)	310,915	14,581	171,132	360	301,218	13,211	125,728	△ 2,001	38,106	8,803	7,558	730	86.8	△ 0.7	319,028	160	75,583	6,344				

※繰越処理により、計と内訳が一致しない場合がある。

※一般財源とは、地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税等をいう。

とっとり暮らし首都圏PRイベントの開催結果について

平成26年11月27日
とっとり暮らし支援課

10月18日(土)～19日(日)の2日間、東京都内で開催したとっとり暮らしPRイベントでは、子育て世帯を中心に多くの方々に“とっとり暮らし”の魅力を紹介し、鳥取県のファン獲得につなげることができました。

- 1 名 称 とうきょうの真ん中で“地方の暮らし”を考える ～とっとりの場合～
- 2 開催日 平成26年10月18日(土)～19日(日)
- 3 場 所 アーツ千代田3331(東京都千代田区)
(廃校(旧練成中学校)を利用した、誰でも自由に出入りできるアートセンター)
- 4 来場者数 702名(18日:256名、19日:446名)
アンケートによれば、新たに37組(124名)が本県の移住情報配信を希望。

5 来場者の声(アンケート等)

- 鳥取での子育てのしやすさについて、行政の子育て支援を知らせるよりも、演劇で示してくれた事がとてもよかった。鹿野が面白いと聞いており、現地にも行ってみたい(30代女性)。
- 演劇を見に来たのに、子どもが怖がって見なかった。しかし、トークが楽しく、ゆっくり過ごせた。鳥取に興味をわき、身近になった(40代夫婦、子2人)。
- 地方移住に関心はあったが、鳥取にも興味を持てた。演劇や読み聞かせもあり、家族で楽しく過ごせた(30代夫婦、子2人)。
- 森のようちえんに興味があり、良い古民家があれば、智頭町に移住したい。子どもも退屈することなく過ごせた。このようなイベントをまたしてほしい(30代夫婦、子2人)。
- 鳥取に移住を決めた。鳥取の魅力を再認識できた(30代夫婦、子2人)。

6 実施体制 主催:鳥取県、NPO法人 鳥の劇場

7 内 容

- (1)「とっとりでの子育て、暮らしの魅力」をテーマとしたトークセッション
(子育て世帯を集客するため、セッションの合間に鳥の劇場による子ども向けの演劇を上演)

<18日(土)> 11:00～16:30

- ・白岡 崇氏(家具デザイナー/東京都からUターン)
- ・西村 早栄子氏(森のようちえん・まるたんぼう/東京都からIターン)
- ・中村 隆行氏(素もぐり漁師、築き会副代表/埼玉県からIターン)

※18日の司会は上田まりえさん(日本テレビアナウンサー、とっとりふるさと大使)

<19日(日)> 11:00～16:30

- ・来間 直樹氏(米子建築塾/東京都からUターン)
- ・北垣 聡氏(森のようちえん hughug 代表)
- ・河崎 妙子氏(レストラン・プロデューサー)

(2) その他

- ・移住定住サポートセンターによる移住相談対応
- ・鳥取県で暮らす家族をテーマとした写真展
- ・ファミリー似顔絵コーナー など



西村早栄子氏のトーク時の様子

8 イベント後の対応(相談会の開催日・場所は来場者に告知済み)

- アンテナショップを活用した相談会を行うなど、首都圏での取組の充実を図る。

名 称	日 時	場 所
とっとり移住フェア(仮称) (市町村合同相談会)【9月補正】	1/31 午前・午後	アンテナショップ
平日ナイター移住相談会	11/6・12/11 18～20時	アンテナショップ
出張移住相談会	11/8・12/13 13～17時	アンテナショップ

- 相談会等に関する情報をメールマガジン等でも配信し、移住につながるよう、フォローアップを行う。

鳥取県への移住状況について(平成26年度上半期速報)

平成26年11月27日
とっとり暮らし支援課

鳥取県への移住状況について、本年度上半期(4~9月)の速報値がまとまりました。半年間で347世帯543人であり、前年度の実績を大きく上回っています(対前年度比約37%増)。

※平成26年度上半期の数値は速報値です。数値のみを集計したものです。

市町村名	H26年度 上半期 (A)		参考			
	世帯数	人数	H25年度 上半期(B)		増減 (A-B)	
			世帯数	人数	世帯数	人数
鳥取市	98	168	63	135	35	33
米子市	4	9	1	1	3	8
倉吉市	30	52	22	40	8	12
境港市	1	1	6	10	△5	△9
岩美町	14	17	35	42	△21	△25
若桜町	6	6	2	2	4	4
智頭町	4	11	24	36	△20	△25
八頭町	11	15	5	6	6	9
三朝町	4	4	22	23	△18	△19
湯梨浜町	19	36	1	1	18	35
琴浦町	57	76	6	7	51	69
北栄町	6	10	8	8	△2	2
日吉津村	1	2	0	0	1	2
大山町	3	5	11	14	△8	△9
南部町	15	21	0	0	15	21
伯耆町	40	69	23	34	17	35
日南町	23	28	21	23	2	5
日野町	8	8	10	11	△2	△3
江府町	3	5	1	2	2	3
合計	347	543	261	395	86	148

【参考1】平成23年度からの移住状況

年度	人数
平成23年度	504
平成24年度	706
平成25年度	962
平成26年度 (上半期)	543
計	2,715

【参考2】本年度実施している移住定住の取組

子育て世代を対象に、関西圏に加え、首都圏でも本格的な取組を始めた。

<主なイベント>

- 1 とっとり暮らし首都圏PRイベント(東京1回)【初開催】
- 2 市町村合同相談会(東京2回、大阪2回)
- 3 移住セミナー「鳥取来楽暮カフェ」(東京4回、大阪4回)
- 4 移住体験ツアー(東京発2回、大阪発2回)
- 5 移住コーディネーターによる出張相談会、ナイター相談会を定期的実施(アンテナショップで開催)

<雑誌・webを活用した情報発信>

- 田舎暮らし雑誌(テーマ:「子育てしたくなるまち」)を活用した情報発信
- 子育て関連のフリーペーパー・雑誌を活用した情報発信、web広報
- 若者向け地方就業雑誌を活用した情報発信、web広報

若桜鉄道「若桜谷観光号」について

平成26年11月27日
交通政策課

若桜鉄道(株)では、鉄道の魅力を幅広く発信することを目的に列車にガイドが同乗して沿線の見所などを紹介する「若桜谷観光号」の運行を開始し、11月3日にJR鳥取駅で出発式が行われました。

○出発式の概要

- ・日時：平成26年11月3日 午前9時30分から9時45分まで
- ・場所：JR鳥取駅4番のりば
- ・内容：若桜鉄道(株)の新たな取組みとして運行される「若桜谷観光号」の紹介とPR
- ・参加者：来賓 鳥取県 平井知事
若桜町 小林町長、川上議会議長 八頭町 岩見副町長、河村議会議長
JR西日本米子支社 遠藤鳥取駅長 若桜鉄道(株) 山田社長
ガイド 武田 恭二(若桜観光ガイドクラブ)、宗元 英敏(光澤寺住職)
広澤 孝彦(元バスガイド)

<テープカット、観光ガイドの紹介>



「若桜谷観光号」の概要

- 11月3日から毎週土日・祝日に1日1本運行される。
(既存の定期列車を活用。鳥取駅9:45発 → 若桜駅10:37着)
- 観光ガイドが乗務し、車窓から見える風景や氷ノ山などの観光スポットの紹介・アクセス案内、沿線ガイドブックの無料配布などを行う。
- 乗務する観光ガイドは、次の2団体と6名。(1回2名程度が乗務)
若桜観光ガイドクラブ(団体)、鳥取大学落語研究会(団体)、高橋美佐紀(鳥取環境大学)、大石忠正(鳥取環境大学)、宗元英敏(光澤寺住職)、山田庸介(氷太くんフロント業務担当)、森亜紀子(八頭町婦人会)、唐澤孝彦(個人)
- 列車内で試食販売を行う。(11月8、15、22日は八頭町の(有)田中農場が“黒豆茶”とネギで作ったドレッシング“ネギネージュ”の試食販売を実施。)

「山陰いいもの探県隊」トークイベントについて

平成 26 年 11 月 27 日
交 通 政 策 課

JR 西日本は、平成 29 年春に予定している特別寝台列車の運行に向けて、地域の魅力を掘り起こし、情報発信していくため民間の活動部隊として「山陰いいもの探県隊」を結成しました。

これにあわせ、11 月 2 日に鳥取駅フェスタにおいて、トークイベントを開催しました。

1 山陰いいもの探県隊について

JR 西日本・内山松江支店長をキャプテンとして両県の観光関係者、商工関係者、マスコミ関係者等で構成されており、現在 39 名が「山陰いいもの探県隊」の隊員に任命されています。

- ・鳥取・島根両県の地域資源の再発見・再評価と情報発信や物品の販路拡大、観光客の誘致等の取組
- ・JR 西日本が平成 29 年春に運行開始予定の特別寝台列車で提供する料理や調度品などの候補の実地点検
- ・地元において地域の魅力等についての座談会の開催

2 トークイベントの概要

- ・日時：平成 26 年 11 月 2 日 午後 2 時 45 分から午後 3 時 15 分
- ・場所：JR 鳥取駅コンコース
- ・内容：山陰いいもの探県隊の活動及び隊員の紹介
 - ① 「山陰いいもの探県隊」の概要や今後の活動予定の紹介
 - ② 副知事挨拶
 - ③ 山陰いいもの探県隊の活動及び隊員の紹介

鳥取県内の 5 名の隊員が参加するとともに林副知事も応援に駆け、地元の PR や特別寝台列車の話題で盛り上がりました。

※トークイベント参加者

<司 会>

内山 興 氏（山陰いいもの探県隊 キャプテン、JR 西日本松江支店長）
御砂 奈々 氏（タレント、JR 米子支社山陰魅力発信特使）

<山陰いいもの探県隊>

小谷 寛 氏（鳥取県物産協会 会長）
阿部 正昭 氏（㈱アベ鳥取堂 代表取締役社長）
植田 秀樹 氏（鳥取情報文化研究所 所長）
藤縄 匡伸 氏（鳥取商工会議所 会頭、日ノ丸産業(株) 社長）
木谷 清人 氏（鳥取市文化財団 理事長、鳥取民芸美術館 常務理事）

<応援参加>

林 昭男（鳥取県副知事）



鳥取空港の愛称決定に至る経緯について

平成26年11月27日
まんが王国官房
交通政策課
空港港湾課

鳥取空港の愛称が鳥取空港の利用を促進する懇話会臨時総会で「鳥取砂丘コナン空港」に決定されましたので、次のとおり報告します。

<鳥取空港の利用を促進する懇話会臨時総会（会長：鳥取商工会議所会頭 藤縄匡伸）>

- 日時 平成26年11月12日 午後1時から2時まで
- 場所 鳥取商工会議所 5階会議室

* 懇話会は、県東部、中部、兵庫県北但西部地区の自治体をはじめ、経済・観光・農業団体、鳥取空港関連企業など26団体で構成する官民の利用促進団体

* これまでの愛称化に向けた主な取組

- ・H26. 1. 4 青山剛昌先生が知事に鳥取空港の「鳥取砂丘コナン空港」への愛称化を提案
- ・H26. 4. 4 竹内鳥取市長と松本北栄町長が平井知事に「鳥取砂丘コナン空港」への愛称化を求める要望書を提出
- ・H26. 5. 19 懇話会の総会において、「鳥取砂丘コナン空港」を念頭に懇話会として愛称化の合意形成に向けた取組を進めていくことを決定
- ・H26. 8 ~ 懇話会が「鳥取空港愛称化推進キャンペーン」を順次展開

{キャンペーンの内容}

- ・ポスター、チラシ、ポケットティッシュを作成し、鳥取空港空の日フェスタ等で配布（9月～）
- ・BSS山陰放送、FM山陰において通勤時間帯に広告CM（10月末～）
- ・鳥取空港国内線到着ロビー向かいに大型広告看板を設置（11月～）
- ・のぼりを製作し、鳥取空港内や若桜街道沿いに設置（10月末～）
- ・日本海新聞「うさぎの耳」（9.11）、旅行情報誌「旅楽」（9.20）に広告掲載
- ・県庁議会棟等への懸垂幕及び横断幕設置（10月末～）、電光掲示板PR（10月中～）

- ・H26. 11. 12 懇話会の臨時総会で鳥取空港の愛称化決定

* 「鳥取砂丘コナン空港」愛称化の賛否 賛成：2,503票（87%） 反対：385票（13%）

<鳥取空港の利用を促進する懇話会による知事への愛称化決定報告及び要望>

- 日時 平成26年11月13日 午前11時40分から正午まで
- 場所 県庁第2応接室

○要望団 鳥取空港の利用を促進する懇話会会長 藤縄匡伸、鳥取市副市長 羽場恭一、北栄町長 松本昭夫、江戸川コナン君 ほか

○要望内容 愛称にふさわしい空港装飾の整備、一層の利用促進対策の充実

* 愛称化決定に寄せられた青山剛昌先生からのメッセージ

ども、青山です。

「鳥取砂丘コナン空港」が正式決定したそうで、とても驚いています！

以前、機内アナウンスで「まもなく米子鬼太郎空港」と流れていたのを聞いて、鳥取も…なんて思っていたことがほんとうに実現とは…マジ感激です！！

西の鬼太郎、東のコナン。

しかし、ふるさとの空港がふたつともキャラクターの名前がつかなくて…

大丈夫か？鳥取県…（笑）。

この鳥取砂丘コナン空港が、日本、いやいや世界中から愛され、来てもらえる空港になることを期待します。

そして我がふるさとが、たくさんの人々の笑顔であふれることを心から願っています！

青山剛昌

<その他>

鳥取空港の愛称決定を受け、11月15日、但馬地域（湯村温泉内、浜坂みなとカニ祭り）において鳥取空港PRキャンペーンを実施した。

『あいサポート・よなごマルシェ』の開催概要について

平成26年11月27日
西部総合事務所地域振興局

「あいサポートアートとっとりフェスタ」における西部地区の主要事業である「あいサポートコンサート」の集客を図り、併せて、障がい者就労事業所と米子商工会議所青年部とのコラボレーションの機会を提供するとともに、高校生の地域貢献活動を支援するため、「西部総合事務所地域課題解決事業」を活用して、『あいサポート・よなごマルシェ』を開催しました。

- 1 事業名 西部総合事務所地域課題解決事業
- 2 開催日 平成26年10月4日（土）
- 3 開催場所 米子市公会堂前庭
- 4 開催内容 ①障がい者就労事業所（12事業所）と米子商工会議所青年部（3団体）による生產品・加工品販売
②米子南高等学校生徒の企画による米子市公会堂前庭イルミネーション
- 5 来場者数 約600人
- 6 予算執行額 1,467千円
- 7 事業成果等

○開催1週間前から米子市公会堂前庭をイルミネーションで飾り付けたことで、よなごマルシェ開催気運が盛り上がり、また、あいサポートコンサート当日は、コンサートとの相乗効果もあって、大変多くの来場者で賑わった。

○障がい者就労事業所の商品の大半が売り切れ、ほとんどの事業所が売上げ目標を達成し（障がい者就労事業所全体では、403千円の売上げ）、事業所の認知度が高まった。

○9月27日に行ったイルミネーション点灯式では、多くの観客の前で障がいのある人たちが歌と踊りを繰り広げ、日頃の練習の成果を発表する場となった。



よなごマルシェ：「生産者」と「消費者」、「まちなか」と「中山間地域」をつなぐというコンセプトの下、食による地域づくりを目指す団体が、ヨーロッパの朝市をイメージしたテントを活用して、特産品販売や情報発信を行う取り組み。

